

2023 年 12 月期 第 1 四半期決算説明会（2023/4/27 開催） 質疑応答要旨

※当日のご質問および回答に、一部表現の変更や加筆・修正を行っております。

Q：金融ソリューションセグメントの低採算案件は 2022 年度に発生した案件と同一か？該当の案件と、その案件の収益状況を教えてほしい。

A：低採算案件は 2 件あった。1 件は、2022 年度に不採算化した案件で、瑕疵対応強化のため、数千万円の受注損失引き当てを追加で行った。もう 1 件は、ソフトウェア製品をベースとしたシステム開発の案件。不具合対応のための体制強化により、約 3 億円の引き当てを行った。

Q：製造ソリューションセグメントの減益要因となった人件費と外注費の増加額を教えてください。

A：人件費が 3～4 億円、外注費が 1～2 億円増加した。このほか、広告宣伝費など間接部門にかかるコストの負担割合が、他のセグメントに比べて多かったことも要因に挙げられる。

Q：製造ソリューションセグメントの外注費の増加理由を教えてください。

A：商談が活況であり、提案活動においても外注を活用する案件が増加していることが要因に挙げられる。

Q：コミュニケーション IT セグメントの受注が弱い理由を教えてください。

A：ERP 事業の受注は伸びたが、電通向けが減少した。

Q：製造ソリューションセグメントの受注が伸びている。大型の商談があったのか？

A：PLM サブスクリプションライセンスの大型案件が複数あった。

Q：ベースアップなどにより、人件費を増加する計画はあるか？

A：ベースアップ、賞与体系などを含め、給与制度と人事制度の見直しを行っている。

Q：エンジニアの採用状況を教えてください。

A：新卒採用およびキャリア採用それぞれで、プロジェクトを組成し積極的に取り組んでおり、順調である。

Q : グループ会社の採用が進んでいないとのことだが、統合予定のコンサル会社か？

A : コンサル会社の採用は順調だが、海外子会社の採用が進んでいない。

Q : 1Q の業績は計画対比ではどうだったのか？

A : 開示しておらず参考情報となるが、社内計画に対しては増収増益である。

Q : 東京五輪・パラリンピックを巡る談合事件により電通グループが複数の省庁から指名停止を受けたが、ISID の事業への影響はでているか？

A : 公共向けで若干影響が出ており注視しているが、第 1 四半期業績への影響はない。

Q : ChatGPT をビジネスに取り入れる動きはあるか？

A : AI 専任部隊を中心に検討プロジェクトを立ち上げた。セキュリティ面で課題があることを考慮しつつ、ビジネスでの可能性を模索しているところだ。

以上